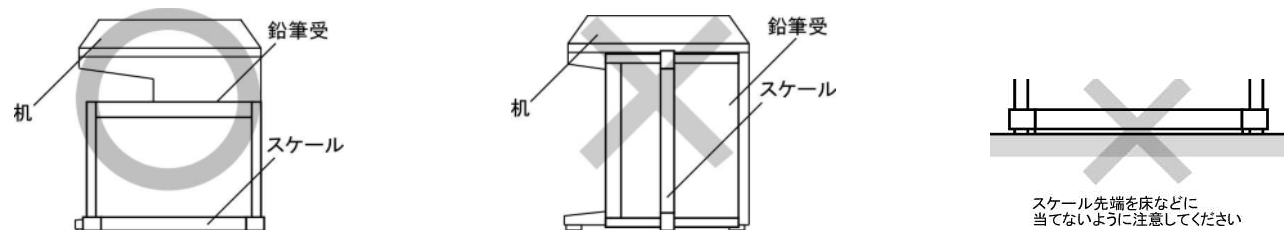


## ⚠ 注意

- ライナーボードは精密機器です。直射日光や高温、高湿でのご使用は避けてください。
- 図板には、磁気を使用したカードやディスク等を置かないでください。  
データが消失することがあります。
- ライナーボードの移動や、キャリングバッグへの収納は鉛筆受けを持たず、製図板を持って本体全体を持ち上げて行ってください。鉛筆受けが変形したり、ワイヤーに負担がかかるなど、故障の原因となります。
- ライナーボードを縦置きする場合は、下の図のように鉛筆受けを上にして、カーソルを下へおろしてください。下の右図のように置くと破損の原因となります。  
また、カーソル先端を床などに当てないように注意してください。



## 保証書とアフターサービス

- ① 保証書が付いていますので、お確かめください。
- ② 保証期間は、お買い上げ日より1年です。
- ③ 保証期間中の修理は保証書を添えて、お買い上げの販売店か最寄りの弊社各営業所に依頼してください。
- ④ 保証期間を経過した場合、および保証外の修理は実費のご負担をお願いします。  
(詳細は保証書をご参照ください)

## ・「ライナーボード及び、関連情報ホームページ」

弊社製品に関する情報を、下記のホームページより確認いただけます。

<http://www.mutoh.co.jp/>

## 仕様

製図板	マグネード製図板	駆動方式	シンクロワイヤシステム
製図範囲	438×600mm	スケール微動調整	±5mm / 600mm
図板サイズ	450×600mm	外形寸法	510×695mm(突起部含む)
図板角度	1° , 5° , 10°	質量	2.9kg

# MUTOH

武藤工業株式会社

〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3

TEL (03)-6758-7130

●保守・サービスのご用命は、上記HPより最寄りの営業所までご連絡ください。

Ver4.0 2022.02

# MUTOH

# 取扱説明書

## OPERATION

## MANUAL

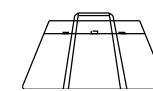
LINER BOARD  
**UT-06**  
ライナーボード

このたびは、ライナーボード UT-06 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。末永くご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

なお、本製品は十分に調整しておりますが、万が一アフターサービスを必要とする際は、再度点検をお願い申し上げます。アフターサービスについては最寄りの弊社各営業所へご依頼ください。

## 付属品をご確認ください

・キャリングバッグ  
1個



・ドラフティングプレート  
300mm×2枚、500mm×2枚



・保証書  
1枚

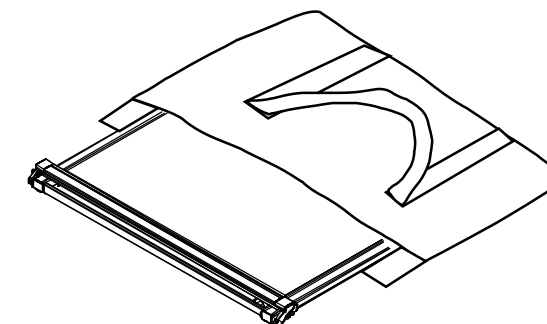
## ライナーボードを持ち運ぶとき

ライナーボードを持ち運ぶときはスケールを鉛筆受け側に移動させ、ブレーキで固定し、鉛筆受けを持ち手側に向けてキャリングバッグに収納してください。

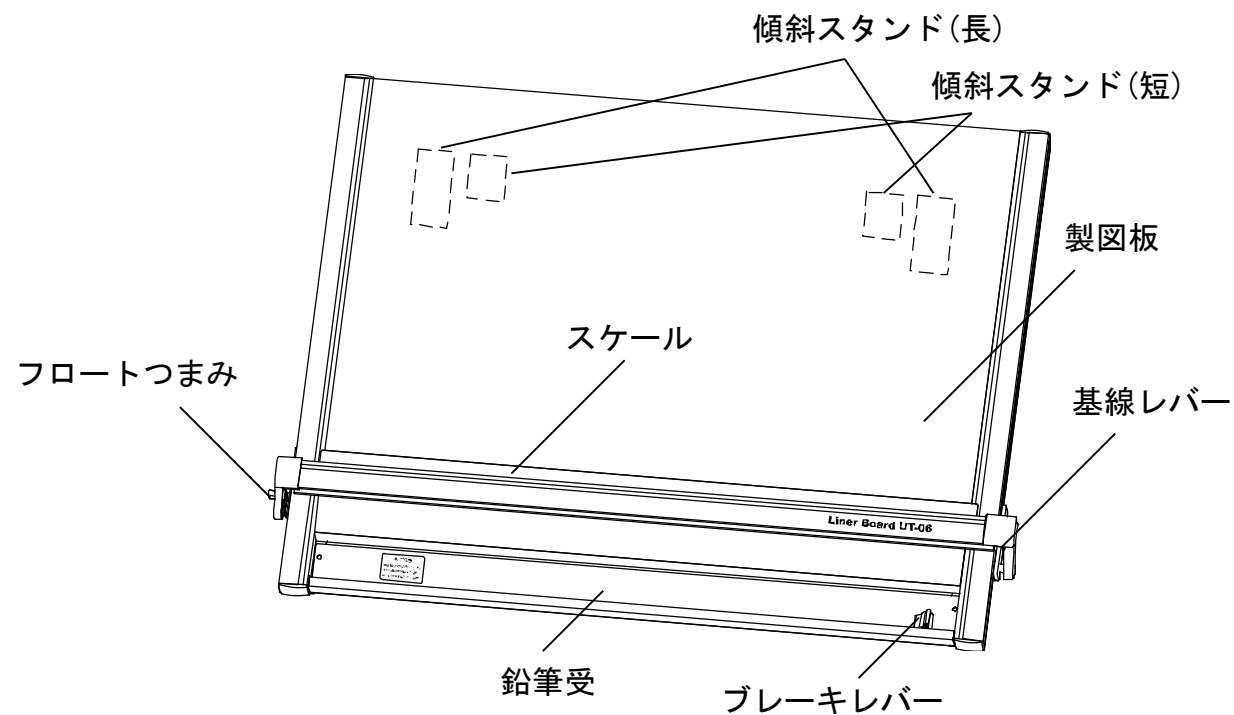
## ⚠ 注意

キャリングバッグへの出し入れは鉛筆受けを持って持ち上げないで下さい。変形やワイヤー外れの原因になる場合があります。

ライナーボードを持ち運ぶときは、キャリングバックの上から衝撃を加えないで下さい。変形、破損が発生する場合があります。



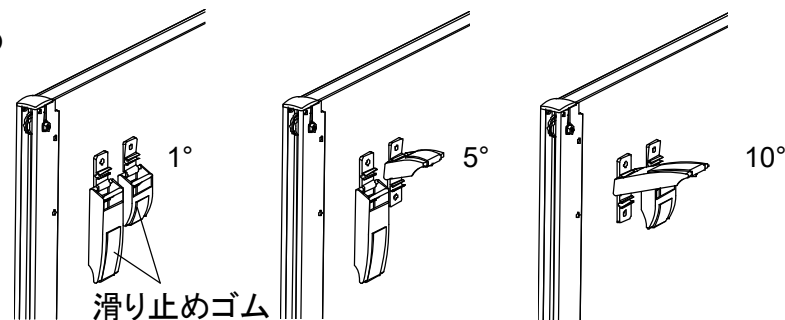
## 各部の名称



## 各部の操作方法

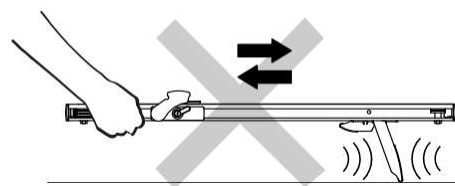
### 傾斜スタンド

製図板を傾斜させて、使用する場合は製図板裏側の傾斜スタンドを立ててご使用ください。  
製図板傾斜角度は1°、5°、10°の3段階でご使用いただけます。  
傾斜スタンドには滑り止めのゴムがついてますので、安定して設置することができます。



#### ⚠️ 注意

本体を移動させる場合は必ず、持ち上げて移動させてください。  
傾斜スタンドを設置面に接触させたまま移動させると、スタンドの滑り止めゴムによりスタンドが倒れる場合があります。

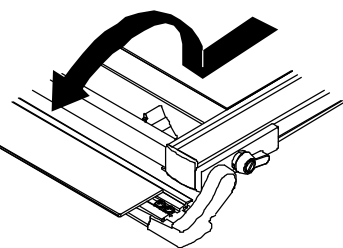


### 図面の貼り替えと図板の清掃方法

スケールを一番手前に移動すると、スケールが反転できます。  
図面の貼り替えや図板の清掃などに便利です。

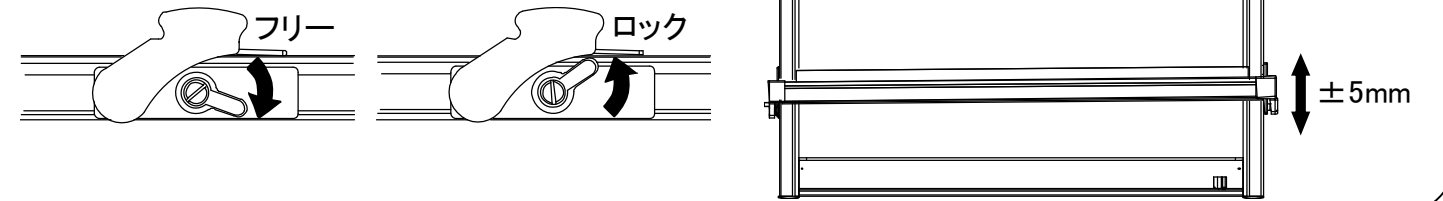
#### ⚠️ 注意

清掃する場合は、乾いた柔らかい布等で拭いてください。汚れが気になる場合は、中性洗剤を水で薄めて(1~2%)柔らかい布に浸し、よく絞ってから拭いてください。ベンジンやシンナー等の薬品は使用しないでください。



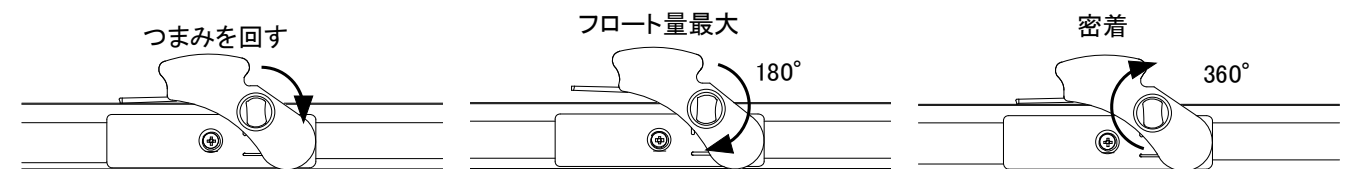
### スケールの角度調整

右カーソルのレバーを緩めると、スケールを±5mmの範囲で調整できます。  
調整後はレバーを締めてください。  
スケールを基線に合わせてときに便利です。



### フローティング調整

左カーソルのつまみを回すと、スケールをフロートさせることができます。  
フローティング量は密着時より180度回転で最大、360度で密着に戻ります。  
つまみの回転量を変更することで、フロート量を調節することができます。  
また、つまみの回転は左右とも回転可能です。

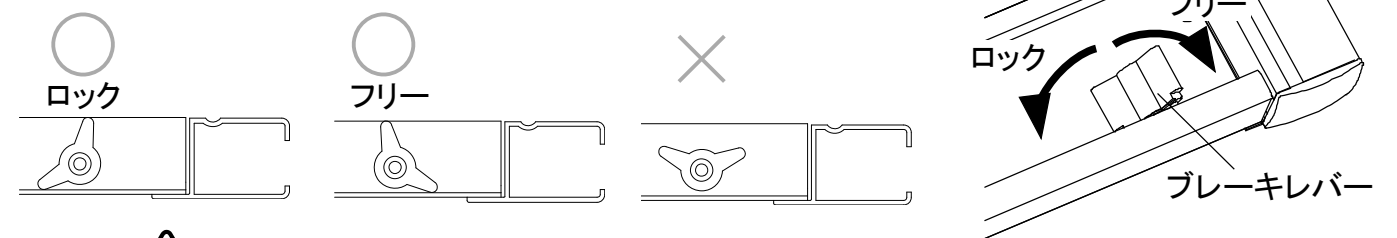


#### ⚠️ 注意

フロート量が小さい場合は使用中に密着状態に戻る場合があります。  
そのような場合は、フロート量を増やしてご使用ください。

### ブレーキの使用方法

鉛筆受け右端のブレーキレバーを左側に倒すとブレーキが効きます。  
ブレーキレバーを右側へ倒すと解除できます。



#### ⚠️ 注意

ブレーキレバーをロックとフリーの間にはしないでください。  
また、ブレーキをロックさせた状態で、スケールに負荷をかけないでください。  
故障の原因になります。  
長時間使用しない場合には、ブレーキをフリー状態にして保管してください。  
ロック状態のまま長時間保管した場合、ワイヤーに負担がかかり、故障の原因となります。